

金属積層造形装置の増設について

金属技研株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：長谷川 数彦）は、アメリカの3D Systems 社よりレーザー積層造形装置 1 台（ProX DMP 320）を神奈川県海老名市の神奈川工場内テクニカルセンターに新たに導入し、8月1日より稼動を開始しました。

導入された造形装置は、当社がこれまで保有していたレーザー積層造形装置の約 1.4 倍の造形エリアを有しており（最大造形エリア：273×273×390mm ※30mm 厚ビルドプレート使用時）、大型製品の造形や、複数部品の同時造形によるコスト低減が可能となります。

今回の新設備導入により、当社の金属積層造形事業は、現有するレーザー積層造形装置 EOSINT M280（2013年12月導入）、電子ビーム造形装置 Arcam A2X（2013年4月導入）および Q20 plus（2014年12月導入）と合わせ、レーザー造形装置 2 台・電子ビーム造形装置 2 台の合計 4 台体制となりました。熱源方式の違いによるメリットやデメリットを把握した上での形状提案や、積層造形のメリットを活かした最適化形状提案を行うことにより、顧客のニーズに沿った最終製品の提供や社内研究開発への適応を進めてまいります。

また、JIS Q 9100（航空宇宙・防衛産業に特化したマネジメントシステム規格）を 2016 年 10 月に追加認証取得し品質管理体制を整えるとともに、保有製造技術（HIP、焼結、接合、加工、熱処理）、検査方法（X線 CT、接触・非接触 3D 測定、粉末分析装置）と組合せ、製品や部品に求められる様々な仕様に対応できる体制を構築しております。

これら品質面・製造体制の充実により、航空宇宙分野を始め、医療分野、先端分野など、高付加価値部品の製造にかかるお客様のニーズに対応いたします。

保有造形装置一覧

機種(メーカー)	方式	造形エリア	主対応材料
ProX DMP 320 (3D Systems 社)	熱源:レーザー パウダーベッド方式	273W×273L×390Hmm	チタン合金 インコネル(Ni 合金)
EOSINT M280 (EOS 社)	熱源:レーザー パウダーベッド方式	250W×250L×325Hmm	チタン合金 インコネル(Ni 合金)
Q20 plus (Arcam 社)	熱源:電子ビーム パウダーベッド方式	φ350×380Hmm	チタン合金
A2X (Arcam 社)	熱源:電子ビーム パウダーベッド方式	200W×200L×350Hmm (TiAl:150W×150L×300Hmm) (SUS:170W×170L×300Hmm)	チタン合金 ステンレス鋼 TiAl 合金